



## じしん 地震にそなえるまちづくり①

答え7ページ

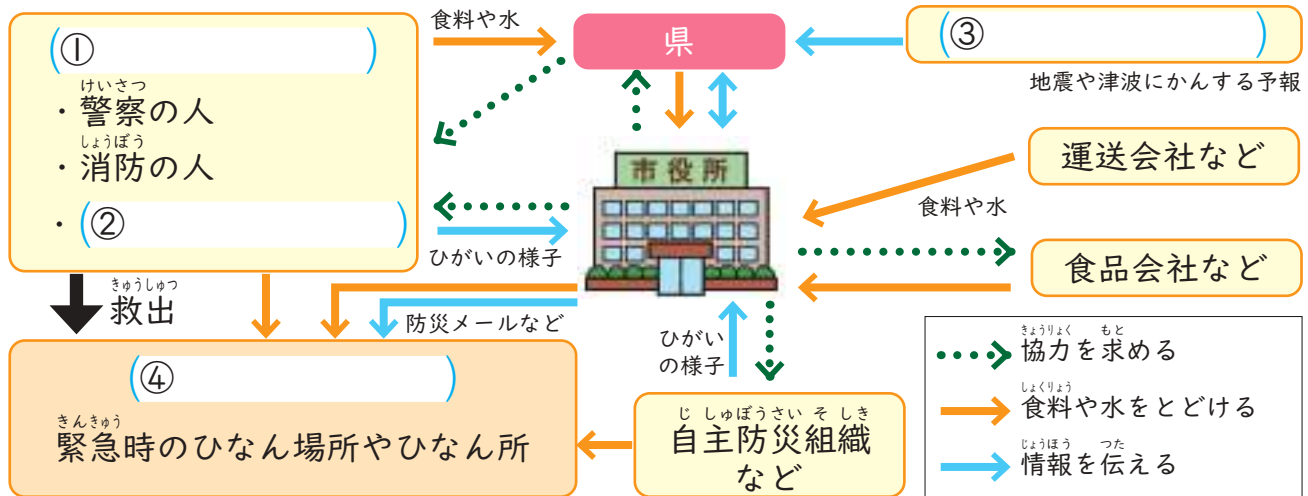


84 ~ 87 ページ

▶ 學習問題

- ちいき
- 
- いしど

▶ 地震や津波から住民を守るしくみ



## 88 ~ 91 ページ

▶ 住民を守るための情報

- 地震が起こると、市は防災無線や防災メール、  
 (⑤) などを使って住民に情報  
 を発信し、(⑥) を守ってもら  
 う。



↑ 防災マップ

## ▶ 住民の命や暮らしを守るための市の取り組み

- 市は津波のひがいを予想しながら、津波から住民を守るための  
 (⑨) などの整備を進めている。

☐ SNS

# 練習



## ぴたトリビア

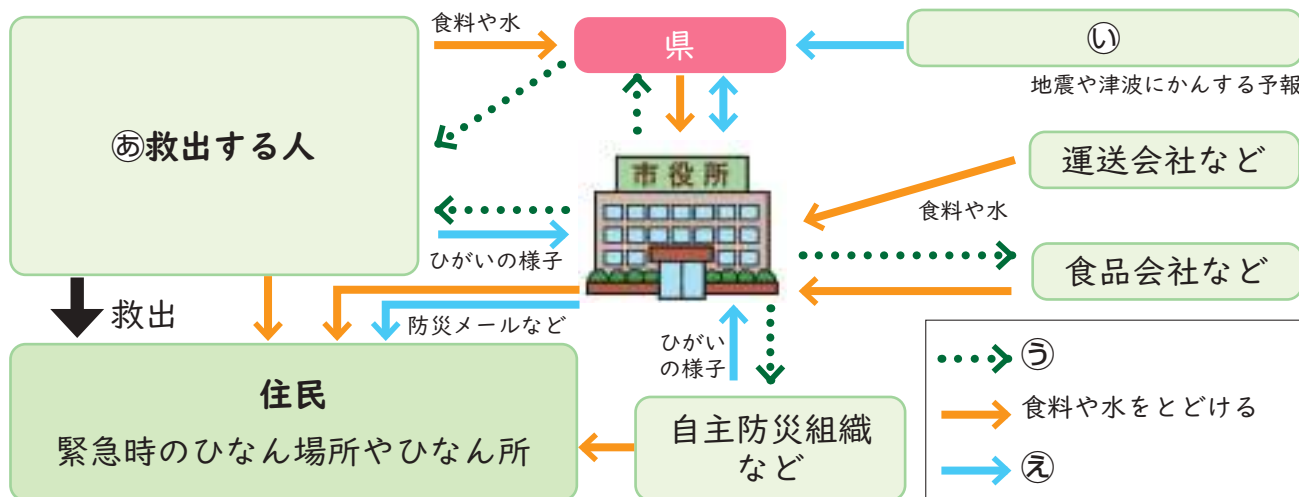
日本は地震が多い国で、地震が起これば、すばやくスマートフォンなどで地震が来ることを伝える緊急地震速報のしくみが整えられています。

教科書

82 ~ 91 ページ

答え 7 ページ

- 1 次の図は、地震や津波から住民を守るしくみを表しています。この図を見て、問いに答えましょう。



- (1) ①には、警察と消防の人の他に、ひがいが大きいときに、県の求めにより出動する人たちがいます。それらの人たちのいる組しきの名前を答えましょう。
- (2) ①は、地震や津波にかんする予報などの情報を発信します。この機関の名前を答えましょう。
- (3) ⑤と⑧の矢印が表すものを、それぞれ選びましょう。
- ア 救出を行う ① 情報を伝える ⑤ 協力を求める ⑧ 様子を知る
- ⑤ ( ) ⑧ ( )

- 2 右の写真は、津波ひなんタワーを表しています。市がこのしせつをつくるときに、考えなくてはならないことを、3つ選びましょう。



- ア しせつを置く場所に、津波ひがいのきけんがあるかどうか。
- ① 近くに鉄道が通っているかどうか。
- ⑤ 近くに高速道路があるかどうか。
- ⑧ しせつを置く地域に、どれくらいの住民がいるか。
- ⑧ 津波が来たときに、どれくらいのひがいが予想されるか。

( ) ( ) ( )



3. 自然災害にそなえるまちづくり

地震にそなえるまちづくり②

教科書

92 ~ 99 ページ

答え 7 ページ

次の( )に入る言葉を、下から選びましょう。

1 地震防災センターで調べよう / 地域にくらす人々のそなえを調べよう

教科書

92 ~ 95 ページ

▶ 過去に起こった地震

- 静岡県では、1498年に起きた  
(①) 地震や、  
1854年の  
(②) 地震な  
ど、1498年から現在までに広  
いはんいにかけて発生した地  
震が(③) 回  
あった。

1498 年	明応地震(千葉県から三重県にかけて発生)。
1589 年	静岡県の東部で大きな地震が発生。
1707 年	宝永地震(静岡県から大分県にかけて発生)。
1729 年	静岡県の伊豆付近で大きな地震が発生。
1854 年	安政東海地震(千葉県から徳島県にかけて発生)。
1855 年	静岡県の東部で大きな地震が発生。
1923 年	静岡県の熱海付近から東部で大きな地震が発生。
1930 年	北伊豆地震(静岡県の東部で発生)。
1935 年	静岡県の中部で大きな地震が発生。
1944 年	東南海地震(静岡県から三重県にかけて発生)。
1965 年	静岡県の中部で大きな地震が発生。

▶ 地域でのそなえ

- 自治会では(④) )をもっていて、1日分の(⑤) )  
が置かれている。
- 公園には市の(④)もあり、(⑥) )やテントなどが置かれている。

↑ 過去に静岡県内で起こった主な地震

2 身の安全をたしかなものにしよう / 地震や津波にそなえて

教科書

96 ~ 99 ページ

▶ 身の安全を守る取り組み

- 地域では、高校生が自治会と協力して、3階建ての家の  
住民に津波が来たときの緊急の(⑦) )と  
して使わせてもらえるようお願いをしている。
- 岩手県釜石市の小中学校では、大地震で津波が発生し  
たら、前もって決めた(⑦) )にげるように日ごろから  
(⑧) )している。
- 日ごろのそなえだけにたよるのではなく、災害の様子を見ながら、自分でも  
(⑨) )することが大切である。



↑ ひなん訓練の様子

▶ これからの取り組み

- 調べてきたことをもとに、これからの(⑩) )に生かすことが大切。

選んだ  
言葉に☑

☐ 判断  
☐ 4

☐ 安政東海  
☐ 食料や水

☐ 訓練  
☐ 明応

☐ 防災倉庫  
☐ 仮設トイレ

☐ 自分の生活  
☐ ひなん場所

# 練習



## ぴたトリビア

世界には大きな地震が起こらない国もあります。しかし、日本は特に地震の多い国で、防災の取り組みがととてもさかんです。

教科書

92 ~ 99 ページ

答え 7 ページ



### 1 右の年表を見て、問いに答えましょう。

- (1) 静岡県の海ぞい地域で、過去に最もひがいの大きかった地震は、安政東海地震です。この地震はいつ起きたでしょう。

( ) 年

- (2) 東南海地震は、どのようなはんいで起きた地震でしょう。かんたんに書きましょう。

( )

1498 年	明応地震(千葉県から三重県にかけて発生)。
1589 年	静岡県の東部で大きな地震が発生。
1707 年	宝永地震(静岡県から大分県にかけて発生)。
1729 年	静岡県の伊豆付近で大きな地震が発生。
1854 年	安政東海地震(千葉県から徳島県にかけて発生)。
1855 年	静岡県の東部で大きな地震が発生。
1923 年	静岡県の熱海付近から東部で大きな地震が発生。
1930 年	北伊豆地震(静岡県の東部で発生)。
1935 年	静岡県の中部で大きな地震が発生。
1944 年	東南海地震(静岡県から三重県にかけて発生)。
1965 年	静岡県の中部で大きな地震が発生。

↑ 過去に静岡県内で起こった主な地震

- (3) 安政東海地震のあと、東南海地震が起こるまでの年数を選びましょう。

㊦ 約 20 年    ㊧ 約 50 年    ㊨ 約 100 年    ㊩ 約 150 年

( )

### 2 右の絵は、公園に置かれている自治会の倉庫の内部です。この絵を見て、問いに答えましょう。

- (1) この倉庫を何とよぶか答えましょう。

( )

- (2) (1) の倉庫について、正しいものには○を、まちがっているものには×をつけましょう。



- ① ( ) 地域の住民が、いつでも利用できる食料と水が置かれている。
- ② ( ) 災害時に救援物資がとどくまでの間に必要なものが置かれている。
- ③ ( ) およそ 1 か月分の食料と水が置かれている。
- ④ ( ) 救急箱や発電機、車いすなども置かれている。
- ⑤ ( ) 災害はいつ起こるかわからないので、点検はしない。
- ⑥ ( ) 市の倉庫にはテントなど、より多くの人が使うものが置かれている。



# たしかめのテスト



## 3. 自然災害にそなえるまちづくり 地震にそなえるまちづくり

時間 30 分

100

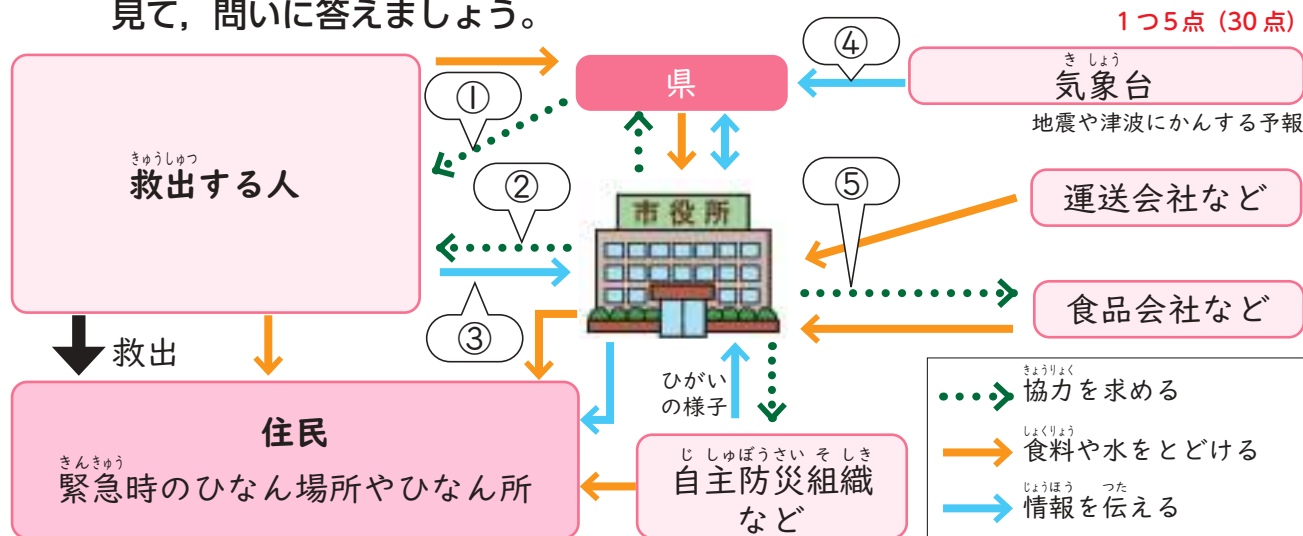
合格 80 点

教科書

82 ~ 99 ページ

答え 7 ページ

1 **よく出る** 次の図は、地震や津波から住民を守るしくみを表しています。この図を見て、問いに答えましょう。



(1) 図の①～⑤にあてはまるものを選びましょう。

- ア 海ぞいの地域にいます。ひがいがとても大きいです。  
イ 間もなく津波が来ます。住民をひなんさせてください。  
ウ 住民の救助をお願いします。  
エ 自衛隊をはけんしてください。 ①( ) ②( ) ③( )  
オ 食料と水を運んでください。 ④( ) ⑤( )

(2) 市役所が住民に災害の情報を伝えるのに、防災メールの他にインターネット通信を使って情報を共有できるしくみを整えています。このしくみを何というか、アルファベット 3 文字で答えましょう。

2 右の防災マップを見て、次の文の( )にあてはまる言葉を、ア～エから選びましょう。

技能 1 つ 5 点 (15 点)

ここには (1) が多くあることから、津波が予想される地域だとわかります。各学校は緊急時には (2) となり、また、(3) がもうけられる学校もあります。



(2014 年 8 月現在)

- ア 道路  
イ 津波ひなんタワー  
ウ ひなん所  
エ 救護所  
①( ) ②( ) ③( )

- 津…津波ひなんタワー  
ひ…ひなん所  
救…救護所

3 右の年表を見て、問いに答えましょう。

技能 1つ5点 (15点)

- (1) 1498年から今にいたるまで、  
静岡県では県をまたがる大きな地震が何回起きたか答えましょう。

1498年	明応地震(千葉県から三重県にかけて発生)。
1589年	静岡県の東部で大きな地震が発生。
1707年	宝永地震(静岡県から大分県にかけて発生)。
1729年	静岡県の伊豆付近で大きな地震が発生。
1854年	安政東海地震(千葉県から徳島県にかけて発生)。
1855年	静岡県の東部で大きな地震が発生。
1923年	静岡県の熱海付近から東部で大きな地震が発生。
1930年	北伊豆地震(静岡県の東部で発生)。
1935年	静岡県の中部で大きな地震が発生。
1944年	東南海地震(静岡県から三重県にかけて発生)。
1965年	静岡県の中部で大きな地震が発生。

- (2) 次の㉠～㉥について、正しいものを2つ選びましょう。

㉠ 静岡県は地震が多く、何度も津波のひがいが発生してきた。

㉡ 過去に大きな地震が何度過去に静岡県内で起こった地震も発生したので、これからは大きな地震は起こらない。

㉢ 地震防災センターは、過去の災害の経験を今や未来の人に伝え、これからのそなえにする役割がある。

㉣ 広いはんいにかけて発生する地震は、50年に一度起こっている。

( ) ( )

4 地震や津波へのそなえについて、問いに答えましょう。

(40点)

- (1) 2人の話の( )にあてはまる言葉を、㉠～㉥から選びましょう。1つ5点 (20点)



ぼくの家は、柱をくふうして(㉠)家にしたり、災害時に必要な(㉡)を準備したりしているよ。



わたしたち家族は、災害時の(㉢)を決めています。月に一度は(㉣)をして、緊急時でもあわてないように準備しています。

- ㉠ 防災倉庫 ㉡ 点検 ㉢ ひなん場所 ㉣ 食料と水  
㉤ ひなん訓練 ㉥ 地震に強い ㉦ 津波に強い

①( ) ②( ) ③( ) ④( )

- (2) **できたうスゴイ!** **記述** 地域のハザードマップを見ておくことが、地震や津波から身を守ることにつながる理由を書きましょう。

思考・判断・表現 (20点)

( )



3. 自然災害にそなえるまちづくり

すいがい

水害にそなえるまちづくり①

教科書

100 ~ 105 ページ

答え 8 ページ



次の( )に入る言葉を、下から選びましょう。

1 水につかったまち／水防学習館で調べよう

教科書

100 ~ 103 ページ

▶ 水害とは

- ・ (①) で川の水量がふえると、ふだんの川はばではふえた水量にたえられなくなり、水があふれ、地域のくらしにえいきょうをあたえる。

▶ 過去に起こった水害

- ・ 新潟県三条市では、過去に何度も水害が起こり、(②) 年の7.13水害では(③) 名がなくなり、(④) 戸の家がひがいにあった。

1949 年	台風により五十嵐川の水が大きくふえる
1956 年	市内の二つの川がはんらんする
1961 年	8.5 集中豪雨
1964 年	7.7 水害
1978 年	五十嵐川の下流で水があふれる
2004 年	7.13 水害(ふった雨の量が 491mm となる)
2011 年	7.29 水害(ふった雨の量が 959mm となる)

↑ 三条市で過去に起こった水害

(三条市役所)

	2004 年	2011 年
なくなった人の数	9	1
ひがいにあった家の数	10935	4228

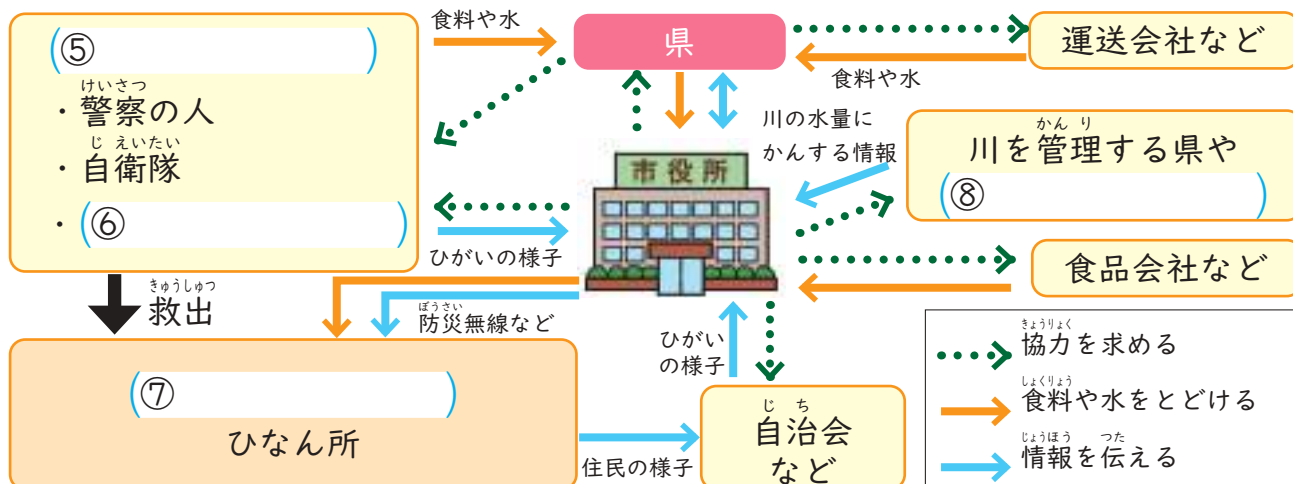
↑ 過去に起こった水害によるひがい

2 市役所へ行って調べよう

教科書

104 ~ 105 ページ

▶ 水害から住民を守るしくみ



- ・ 水害の発生が予想されると、市や県などの関係機関は(⑨) にしたがつて災害対策本部をもうけて、(⑦) を守るために行動する。

選んだ  
言葉に

☐ 国土交通省

☐ 大雨

☐ 救出する人

☐ 2004

☐ 9

☐ 地域防災計画

☐ 住民

☐ 消防や水防団の人

☐ 10935

# 練習



## ぴたトリビア

日本の川は流れが急で短いのが特ちょうです。そのため、多くの川でダムがつくられ、水害が起きないように水量を調整しています。

教科書 100 ~ 105 ページ 答え 8 ページ

### 1 右の年表を見て、問いに答えましょう。

- (1) ①8.5 集中豪雨と ②7.13 水害  
が起きた年を答えましょう。

① ( ) 年

② ( ) 年

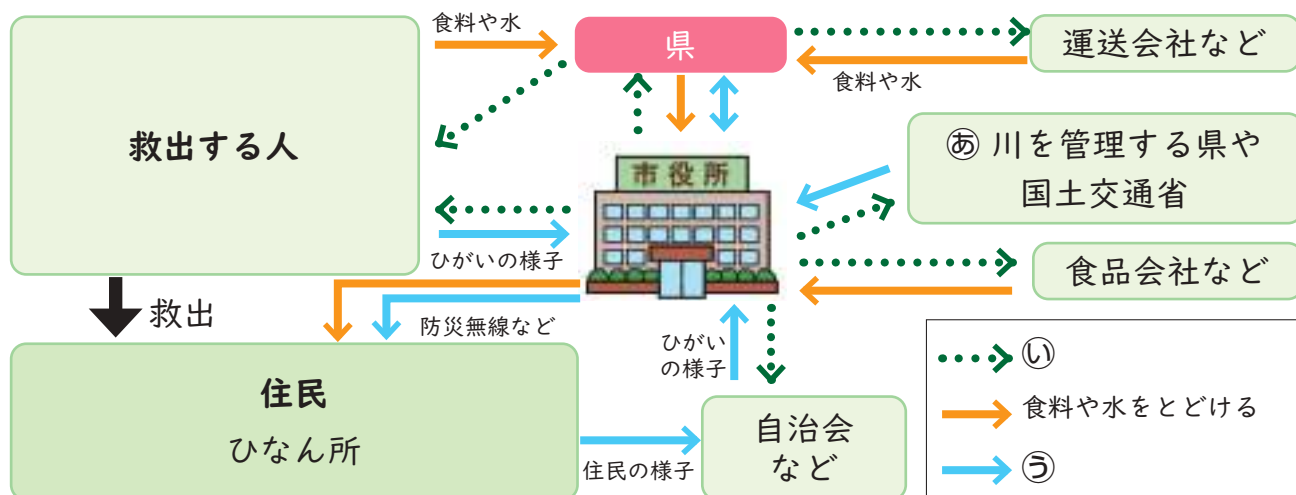
- (2) 1960 年から 2011 年の間に何  
回の水害が起きたか答えましょう。

( ) 回

1949 年	台風により五十嵐川の水が大きくふえる
1956 年	市内の二つの川がはんらんする
1961 年	8.5 集中豪雨
1964 年	7.7 水害
1978 年	五十嵐川の下流で水があふれる
2004 年	7.13 水害(ふった雨の量が 491mm となる)
2011 年	7.29 水害(ふった雨の量が 959mm となる)

↑ 三条市で過去に起こった水害

### 2 次の図は、水害から住民を守るしくみを表しています。この図を見て、問いに答えましょう。



- (1) ⑥から市に伝える情報を選びましょう。

ア 住民の人口や男女の割合など

イ 川の水量や流れの様子

ウ 過去の水害のひがいのようす

エ 必要な食料や水の量

( )

- (2) ①と⑤の矢印が表すものを、それぞれ選びましょう。

ア 救出を行う

イ 情報を伝える

ウ 協力を求める

エ 様子を知る

① ( ) ⑤ ( )

- (3) 水害の発生が予想されるとき市の動きについて、次の文の ( ) にあてはまる言葉を答えましょう。

市は、① ( ) 計画にしたがって、② ( ) 本部をもうける。





3. 自然災害にそなえるまちづくり

すいがい

水害にそなえるまちづくり②

教科書 106 ~ 111 ページ

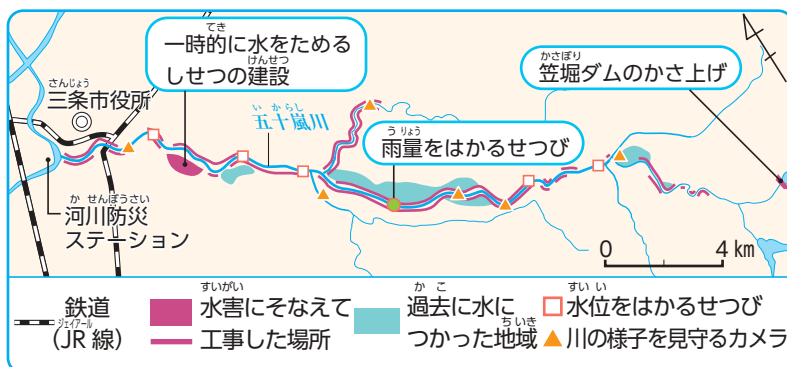
答え 8 ページ

次の( )に入る言葉を、下から選びましょう。

1 ひがいがくり返されないために

教科書 106 ~ 107 ページ

- 市は県と協力して、五十嵐川の(①)の一部を広げる工事を行った。また、川の水を一時的に(②)をつかった。



- さらに、国と協力して(③)をつかった。

↑ 五十嵐川の水害にそなえる取り組み

- 市と県は、「まるごとまちごとハザードマップ」という取り組みを進め、川がはんらんしたときにつかると予想される水の深さや、過去の洪水でつかった水の深さを(④)にして、住民の水害に対する意識を高めようとしている。

2 地域の住民の取り組み／水害にそなえて

教科書 108 ~ 111 ページ

水防活動

- 地域の消防団は、水害が起こると川のていぼうに(⑤)を積んだり、住民を(⑥)したりする。
- 消防団員は水害にそなえるために、(⑦)の道具の点検や(⑤)を速く積む(⑧)を行っている。
- 地域では、住民と市、県、国が合同で(⑨)を行っている。

土のうとは、土などを入れてたふくろのことだよ。



↑ 水害時の土のうを積む作業

住民の取り組み

- 水害について書かれている市の広報パンフレットを集めたり、家での取り組みをきいたりすることが大切である。

選んだ言葉に

☐ 土のう

☐ 標識

☐ ためるしせつ

☐ 水防倉庫

☐ 訓練

☐ 救助

☐ 川はば

☐ ひなん訓練

☐ 河川防災ステーション

# 練習



## ぴたトリビア

日本では昔から各地で川のはんらんが起きていました。よくはんらんを起こして、農地やまちをあらず川を「あばれ川」とよびます。

教科書

106 ~ 111 ページ

答え 8 ページ



### 1 右の地図を見て、問いに答えましょう。

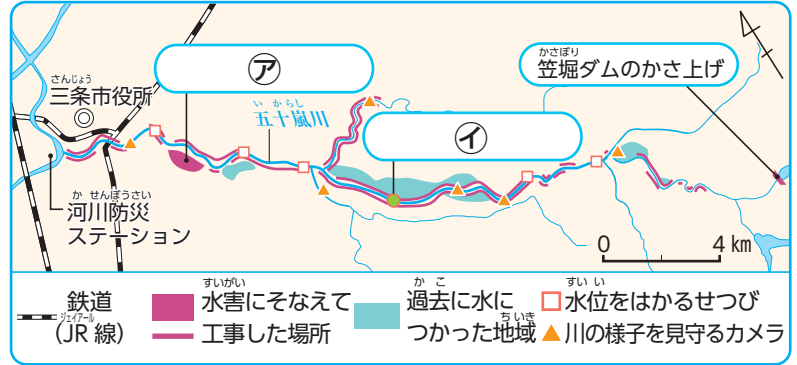
- (1) 次の①・②にあてはまるしせつやせつびを、地図の㍖・㍣からそれぞれ選びましょう。

① 雨量をはかるせつび

( )

② 一時的に水をためるしせつ

( )



五十嵐川の水害にそなえる取り組み

- (2) 市役所の人が水防について話しています。次の文の( )にあてはまる言葉を、㍖~㍣から選びましょう。



市は県と協力して、水害にそなえて(①)を広げる工事を行いました。また、市役所の近くに(②)をつくり、ひがいをおさえるための行動がすばやくとれるようにしています。

㍖ 道路    ㍣ ダム    ㍡ 川はば    ㍢ 河川防災ステーション

①( ) ②( )

### 2 地域の住民の水防活動について、正しいものには○を、まちがっているものには×をつけましょう。

①( ) 水害のひなん訓練は中学生まで行い、おとなは参加しない。

②( ) 消防団では、土のうを速く積む訓練を行っている。

③( ) ひなん訓練は、水害が起こったあとに行われる。

④( ) 市と県は、過去につかった水の深さを標識にして、住民の水害に対する意識を高めようとしている。



3. 自然災害にそなえるまちづくり

火山の噴火にそなえて／雪の災害にそなえて

教科書

112～115 ページ

答え 8 ページ

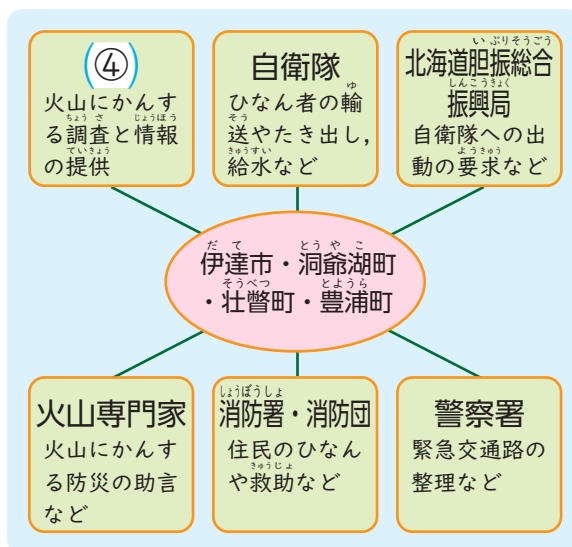
次の( )に入る言葉を、下から選びましょう。

1 火山の噴火にそなえて

教科書

112～113 ページ

- 火山が噴火すると、市はまわりの町と協力して、火山防災計画や(①)にもとづいて、ひなんや(②)活動を行う。
- 噴火時には、サイレンを鳴らしたり、緊急(③)を配信したりして、ひなんをよびかける。
- 火山のある市や町の住民は、火山の噴火にそなえるため、国土交通省、警察署(④)、自衛隊など10をこえる関係機関とともに、合同でひなん訓練を行っている。



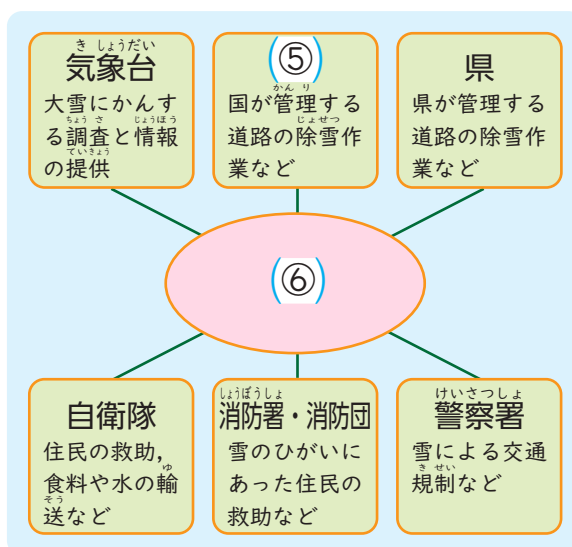
↑ 北海道の有珠山火山防災協議会と、関係機関の役割

2 雪の災害にそなえて

教科書

114～115 ページ

- 市は、雪の災害が発生すると、県や气象台、(⑤)、自衛隊などと協力して、(⑥)を設置する。
- 住民にひがいが出たときは、関係機関と協力して救助を行う。
- 市は雪の災害にそなえるために、(⑦)などで大雪への注意をよびかけたりする。
- 地域では自主防災会を中心に、協力して(⑧)や雪おろしを行う取り組みもある。



↑ 雪の災害が発生した場合に協力するしくみ

選んだ言葉に

☐ 国土交通省

☐ 雪かき

☐ 救助

☐ ハザードマップ

☐ 災害対策本部

☐ 气象台

☐ メール

☐ 防災メール

# 練習



## ぴたトリビア

豪雪地帯では家屋がおしつぶされることがあります。雪の重さは、雪質にもよりますが、重いときには1㎡で500kgにもなります。

教科書 112～115 ページ 答え8ページ

### 1 右の図を見て、問いに答えましょう。

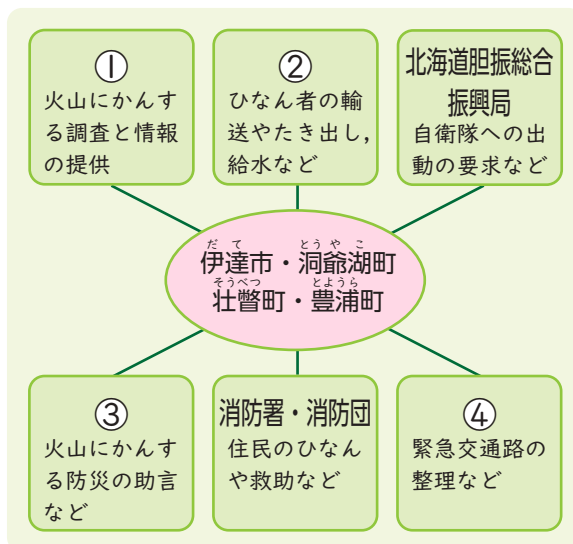
(1) 図の①～④にあてはまる機関をそれぞれ選びましょう。

- ア 警察署    イ 火山専門家  
ウ 自衛隊    エ 気象台

①(            )    ②(            )  
③(            )    ④(            )

(2) 図の4つの市と町が火山の噴火にそなえて行っている取り組みとして、まちがっているものを1つ選びましょう。

- ア 合同でひなん訓練をしている。  
イ 協力してハザードマップを作成している。  
ウ 噴火が起これと、別々の行動をとるようにしている。  
エ 国の機関とも協力して防災活動を行っている。



↑ 北海道の有珠山火山防災協議会と、関係機関の役割

(            )

### 2 右の図を見て、問いに答えましょう。

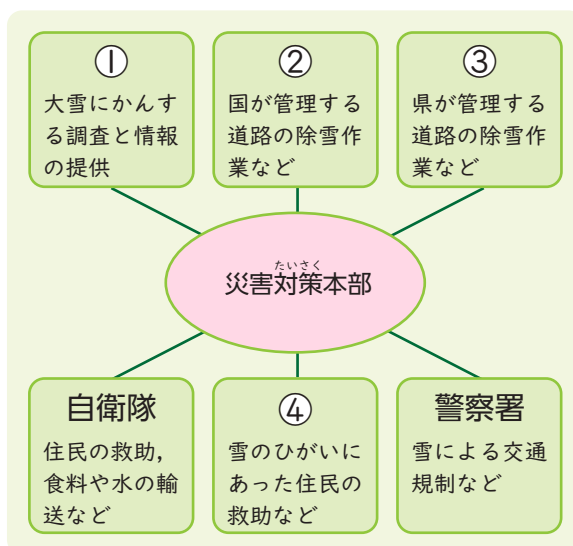
(1) 図の①～④にあてはまる機関をそれぞれ選びましょう。

- ア 県                      イ 気象台  
ウ 国土交通省    エ 消防署・消防団

①(            )    ②(            )  
③(            )    ④(            )

(2) 雪の災害に対する市の取り組みについて、まちがっているものを1つ選びましょう。

- ア 雪の災害が発生すると、市は県、国と協力して住民を守る。  
イ 災害が起これと、住民の救助は自衛隊だけが行う。  
ウ 地域の自治会に小型の除雪機をかし出している。  
エ 集めた雪を置く場所などの情報を広報紙で伝えている。



↑ 雪の災害が発生した場合に協力するしくみ

(            )



# たしかめのテスト



## 3. 自然災害にそなえるまちづくり すいがい 水害にそなえるまちづくり

100

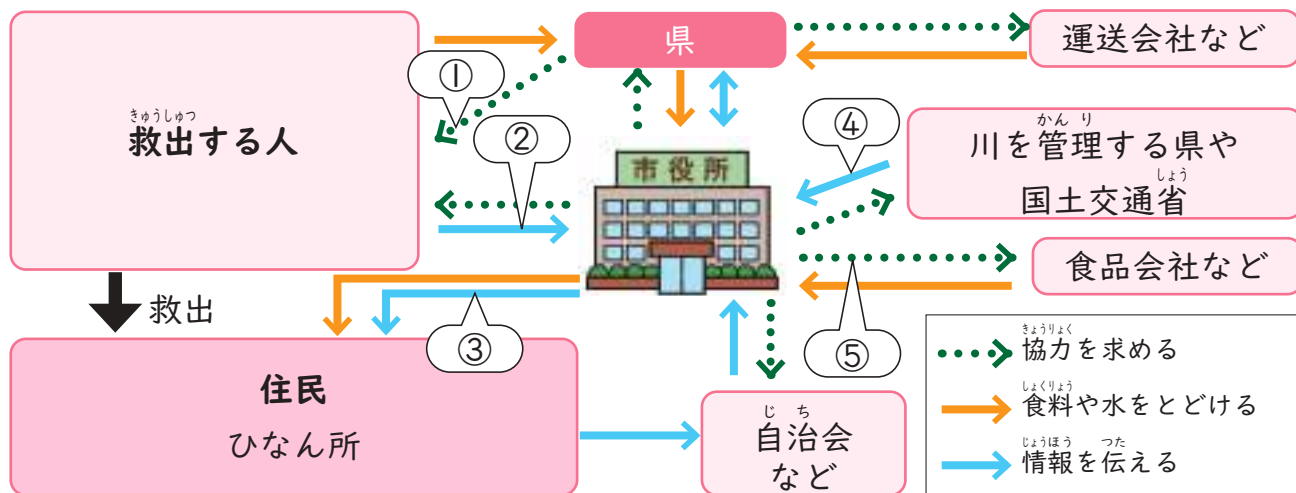
合格 80 点

教科書 100 ~ 111 ページ

答え 9 ページ

- 1 **よく出る** 次の図は、水害から住民を守るしくみを表しています。図の①～⑤にあてはまるものを選びましょう。

1 つ 10 点 (50 点)



- ア 下流のていぼうがこわれました。すぐに住民の救出に向かいます。  
 イ 大雨で川の水位が上がっています。この先も長く雨がふる見こみです。  
 ウ 小学校の体育館がひなん所となります。すぐにひなんしてください。  
 エ 自衛隊をはけんしてください。①( ) ②( ) ③( )  
 オ 食料と水を運んでください。④( ) ⑤( )

- 2 右の地図を見て、問いに答えましょう。

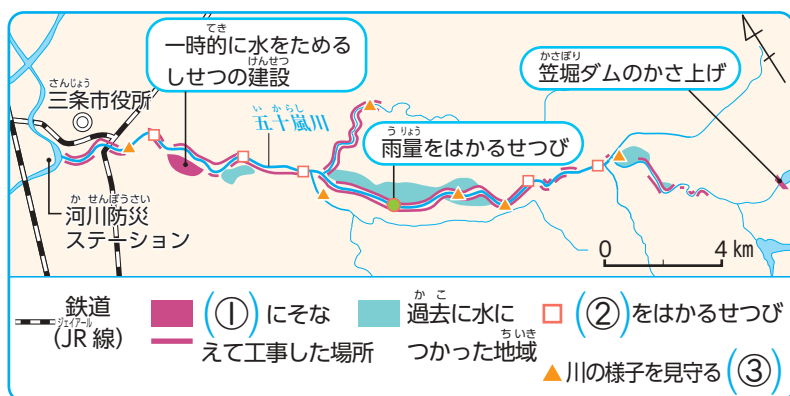
(50 点)

- (1) 地図の①～③にあてはまる言葉をそれぞれ選びましょう。

1 つ 10 点 (30 点)

- ア カメラ      イ 水害  
 ウ 水防      エ 水位

- ①( )      ②( )  
 ③( )



- 五十嵐川の水害にそなえる取り組み

- (2) **アタタリ スゴイ!** **記述** 右の絵は、過去の水害でまちがつかった水の深さをしめす標識です。市がこの標識を置く理由を答えましょう。

思考・判断・表現 (20 点)



# たしかめのテスト



## 3. 自然災害にそなえるまちづくり

### 火山の噴火にそなえて／雪の災害にそなえて

／50

合格 40 点

教科書

112 ～ 115 ページ

答え 9 ページ

学校で学習する内容によって ①・② を選んで取り組みましょう。

- 1 右の図は、火山噴火の防災のしくみを表しています。この図を見て、問いに答えましょう。

1 つ 10 点 (50 点)

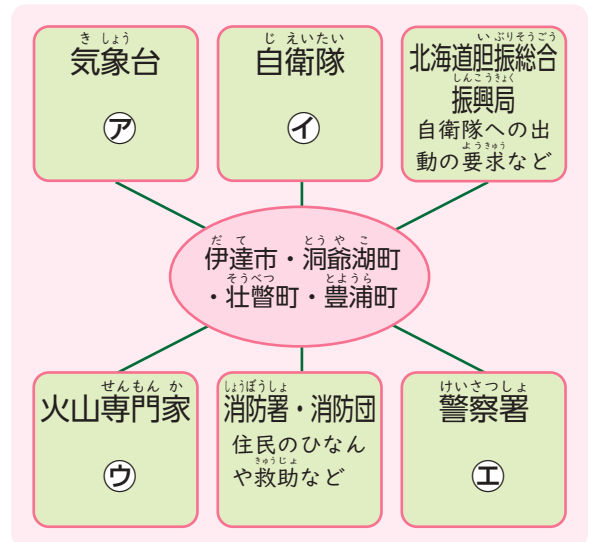
- (1) よく出る ①～④のはたらきをする機関を、図の㍑～㍑から選びましょう。

- ① ひなん者の輸送やたき出し、給水など  
② 火山にかんする防災の助言など  
③ 火山にかんする調査と情報の提供  
④ 緊急交通路の整理など

① ( ) ② ( )  
③ ( ) ④ ( )

- (2) できたら スゴイ! 記述 市で行う救助活動が、ハザードマップをもとに行われる理由を答えましょう。

思考・判断・表現



↑ 北海道の有珠山火山防災協議会と、関係機関の役割

- 2 右の図は、大雪の防災のしくみを表しています。この図を見て、問いに答えましょう。

1 つ 10 点 (50 点)

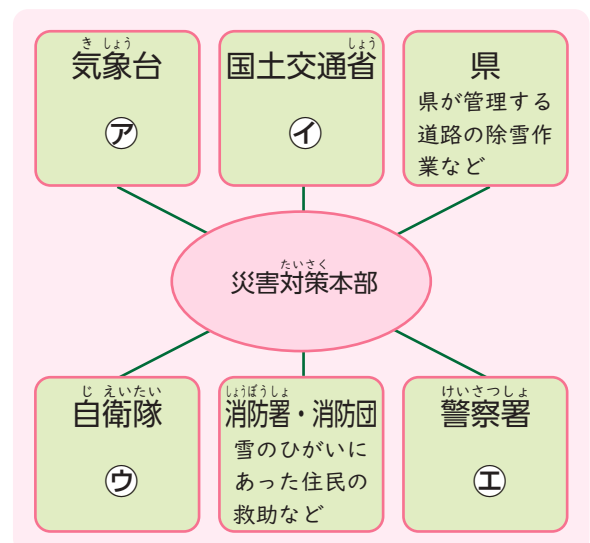
- (1) よく出る ①～④のはたらきをする機関を、図の㍑～㍑から選びましょう。

- ① 国が管理する道路の除雪作業など  
② 大雪にかんする調査と情報の提供  
③ 住民の救助，食料や水の輸送など  
④ 雪による交通規制など

① ( ) ② ( )  
③ ( ) ④ ( )

- (2) できたら スゴイ! 記述 市が除雪ボランティアの方に、雪かきをお願いする理由を答えましょう。

思考・判断・表現



↑ 雪の災害が発生した場合に協力するしくみ

### 3 自然災害にそなえるまちづくり

#### ひたたり 1 ジャンビ 34 ページ

- 1 ①救出する人 ②自衛隊 ③気象台 ④住民  
2 ⑤SNS ⑥身の安全 ⑦ハザードマップ ⑧ひなん所 ⑨津波ひなんタワー

#### ひたたり 2 練習 35 ページ

てびき

- 1 (1) 自衛隊  
(2) 気象台  
(3) ウウ えい  
2 ア, イ, オ
- 1 (1) 自衛隊は、国を守る仕事をする国の組しきです。県から救助の求めがあると現地に行って、人命救助をしたり、必要な食料や水を配ったりします。  
(2) 気象台は、天気や地震、津波の観測や予測をする機関です。  
2 津波ひなんタワーは、津波が来たときににげるタワーです。近くに鉄道や高速道路があるかは関係なく、多くの住民がいて、にげるための高台などがない場所につくられます。

#### ひたたり 1 ジャンビ 36 ページ

- 1 ①明応 ②安政東海 ③4 ④防災倉庫 ⑤食料や水 ⑥仮設トイレ  
2 ⑦ひなん場所 ⑧訓練 ⑨判断 ⑩自分の生活

#### ひたたり 2 練習 37 ページ

てびき

- 1 (1) 1854 (年)  
(2) (例) 静岡県から三重県にかけたはんい。  
(3) ウ  
2 (1) 防災倉庫  
(2) ①× ②○ ③× ④○  
⑤× ⑥○
- 1 (3) 安政東海地震は1854年、東南海地震は1944年に起きています。その間は90年なので、ウの約100年となります。  
2 (2) ①防災倉庫の食料や資材は、災害が起きたときに使うものなので、×。  
③防災倉庫には、救援物資がとどくまでの間、地域の住民が必要な1日分の食料や水が置かれているので、×。  
⑤災害がいつ起きてもまちを守れるように、月に一度は資材の点検を行っているので、×。

#### ひたたり 3 たしかめのテスト 38~39 ページ

てびき

- 1 (1) ①エ ②ウ ③ア  
④イ ⑤オ  
(2) SNS  
2 ①イ ②ウ ③エ  
3 (1) 4 (回) (2) ア, ウ  
4 (1) ①カ ②エ ③ウ ④オ  
(2) (例) あらかじめ、どこがあぶないか知っておくことが大切だから。
- 1 (1) 地震が起こると、市と県は必要な機関に協力を求める連らくをします。  
2 地図に津波ひなんタワー (ウ) が多くあるので、この一帯は津波のひがいが予想される地域だとわかります。  
3 (2) ①1700年代から、広いはんいにかけて発生する地震は、100年~150年に一度起きています。  
4 (2) 「ハザードマップは、最大の地震や津波にそなえてつくられた地図だから」と書いても正かいです。

- 1 ①大雨 ②2004 ③9 ④10935  
2 ⑤救出する人 ⑥消防や水防団の人 ⑦住民 ⑧国土交通省 ⑨地域防災計画

- 1 (1) ①1961(年)  
②2004(年)  
(2) 5(回)  
2 (1) ①  
(2) ①② ③④  
(3) ①地域防災 ②災害対策
- 1 (2) 1960年から2011年の間には、8.5集中豪雨、7.7水害、五十嵐川の下流で水があふれる、7.13水害、7.29水害の計5回の水害があったことが読み取れます。  
2 (1) 国土交通省とは国の役所で、道路や鉄道、川などの管理を行っています。川の水量や水位をカメラで見て、はんらのきけんがあれば、市に連らくします。

- 1 ①川はば ②ためるしせつ ③河川防災ステーション ④標識  
2 ⑤土のう ⑥救助 ⑦水防倉庫 ⑧訓練 ⑨ひなん訓練

- 1 (1) ①① ②ア  
(2) ①ウ ②エ  
2 ①× ②○ ③× ④○
- 1 (1) はんらんなどの水害が多く起こる川には、さまざまな防災のためのしせつやせつびが整えられています。地図から、雨量をはかるせつびの他にも、水位をはかるせつびや川の様子を見守るカメラもあることがわかります。  
2 ① 地域や学校のひなん訓練は、子どもからお年よりまで、みんなが参加して行われるので、×。  
③ 水害にそなえるためのひなん訓練は、水害の起こりやすいつゆや台風シーズンの前に行うことが多いので、×。

- 1 ①ハザードマップ ②救助 ③メール ④气象台  
2 ⑤国土交通省 ⑥災害対策本部 ⑦防災メール ⑧雪かき

- 1 (1) ①エ ②ウ ③イ ④ア  
(2) ウ  
2 (1) ①① ②ウ ③ア ④エ  
(2) ①
- 1 (1) ③噴火については、専門家の意見を聞いて、市や町は防災活動を行います。  
(2) ⑤火山の噴火時には、火山のある市と町だけではなく、県(道)や国と協力して住民を守ります。  
2 (1) ① 气象台は大雪の<sup>けいほう</sup>警報を出すなど、防災につとめます。  
(2) ① 大雪でひがいが出たとき、住民の救助は自衛隊の他にも、消防署や消防団が協力して行います。



- 1 ①エ ②ア ③ウ ④イ ⑤オ
- 2 (1) ①イ ②エ ③ア
- (2) (例) 住民に、水害に対する意識を高めてもらうため。

- 1 ①～⑤の矢印が、どこからどこへの連らくなのかをもとに考えましょう。
- 2 (2) 電柱にかかげられた標識には、過去の水害でまちがかった水の深さが書かれていて、住民がこれを見ることで、日ごろから水害に対する意識を高めてもらうようにしています。ここでは、水害に対する意識を高めるくふうであることが書いてあれば正かいです。

- 1 (1) ①イ ②ウ ③ア ④エ
- (2) (例) 災害によるひがいの予想がつくため。
- 2 (1) ①イ ②ア ③ウ ④エ
- (2) (例) お年よりなど、一人で雪かきができない人がいるから。

- 1 (2) 「ハザードマップは、最大の噴火にそなえてつくられた地図だから」と書いても正かいです。
- 2 (2) 一人暮らしのお年よりなどの中には、家の前など生活で使う場所の除雪をするのは大変な方がいます。そこで、市はボランティアに雪かきをたのんで、住民が安心してらせるようにしています。ここでは、一人では雪かきができない人がいることが書いてあれば正かいです。